日刊（除月曜） 昭和25年10月5日 第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認第684号
磐城日日
昭和28年（1953年） 9月16日 水曜日 第933号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港通51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬靜一

雑誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
TEL 219・387

小名濱港に五億六千萬

一萬トン埠頭来春より着工

鈴木博士を委員長とする小名浜築港調査委員會のに京中の、小名浜港灣委員高木嘉一郎氏から十四日午後七時四十分本社宛入電があり、小名浜港が港灣整備促進法案の適用を受けて五億六千六百萬の枠を獲得する事に成功した旨傳えられ、關係者を驚嬉させたが、更に十五日午後野崎委員長一行の歸郷により鈴木案一万トン岸壁が二十九年度より着工される事になつた事が明らかにされた

陳情の効奏し

港灣整備促進法の適用決定

小名浜築港調査員会は十四東京の第二港湾建設局に於て縣から高野土木部長、木戸河港課長、縣会議員十六氏、小名浜港灣委員會から野崎委員長ら五氏が出席したが会議の席上木戸河港課長から重要港湾の早期整備を促進する港灣整備促進法案に小名浜港が適用され五億六千六百万円の予算をもつて二十九年度から着工されることになつた

と報告され、並いる地元議員は歓呼の聲をあげ、早速小名浜にその報がもたらされたものである

港灣整備事業促進法案は重要港灣の整備促進を目的に今期國会を通過八月二十日交附された法案でこの適用は先き頃より運動を續けて來たもので、時期的に遅きに失つして難かしいのではないかとも見られたが、幸いその効を奏し審議會の承認を得て小名浜未曾有のボー大なる予算五億六千六百万円を獲得することが出来たことは躍進小名濱の第一歩を着実に踏み出したことを物語り、外航港商工港小名浜の夢は実に近き將來に實施されるとことを約束づけられたものである

この五億六千六百万の起債は、鈴木案の第一期早急工事として計画されている現三千噸岸壁の一万噸岸壁増設に使用されるものと思われ、現三千噸埠頭の突端を百五十米延長幅員を百八十米に擴張海水浴場は商工港の犠牲として永久にその姿を消して終うとことになる

またこれに平行して沖防波堤の延長工事は公共事業費によつて進められる模様であり二十九年度からの小名浜築港は一段と活氣を呈して工事が進められることになる

これに對し伊藤小名浜港工事々務所長は次の様に語つている

まだ正式な話は聞いておりませんが、小名浜港に五億六千万の枠が決定したとすれば私達の夢の実現です

若月所長ら視察

冷水害に煙害で收獲皆無

〃既報〃小名浜地方の冷水害は予想外に憂慮される状態にあり、過般小名濱農業委員会はとの水稲作況調査を審議、地方事務所に調査方を依賴したが、十五日午前十時、若月所長以下、六本本經済課長、大和田農改課長郡協議会長木村幸雄氏ら一行が来小し小名浜町經済課から大浦課長、赤塚農業主任らが同行し、農業委員各部落代表らの案内で全耕地を視察した

水害による被害の甚だしい大原、住吉、南富岡部落と冷害と日本水素の煙毒による松の中方部は殆ど收穫皆無と見られる松の中方部の慘状は目を覆うものがあり 例年なら九月一日の二百十日には八～九割が出穂を終るのに九月を中旬も過ぎる今日、未だに四割近くが出穂に至つておらず、一体どうなることだろうと天を仰いで長嘆息せざるを得ない状況である

若月所長談

月並みの言葉で只々お氣の毒ですと云うより云うべき言葉が出て来ません、早急に対策を講じたいと思います

石城水対委結成

供米割当税金に腐心

二十五年来或いは七十年来と古老のシワを一入深くしている今年の冷氣害に農家は戦々競々としているが病虫害の予防に科学の粋を盡くし万全を期して來ただけに天災として只々天候の恢復に最後の希みをかけているが、農家經濟崩壊の打解策としては、供出割当税金の輕減免除など早急の救助策が焦眉の急となつて来ており、縣の水害對策委員會結成と呼應して郡内でも石城水害對策委員会が十七日頃地方事務所で結成される模様である

青連協代議員会（小名）

小名浜町青少年団体連絡協議会（會長松本文治氏）代議員會は十七日午後六時から公民館日本間で開かれ▽一年間の事業報告、▽会計報告、▽係員（役員）の改選 等を協議する

小名青連協は從來個々に文化活動を行つて來た各種青少年團体に横の連緊を與えて相互の運動を一層活発にしようと組織されたものであるが 以来一カ年、相当な足跡を残しており、今後一層の活躍が期待されている

川部消防團長に鈴木氏

川部村消防団長小野敏爾氏の辭任に伴い同村消防団ではその後任團長推選問題に付いて協議していたが、この程鈴木章氏が新團長に決定した

植田消防團長會議

縣消防協会植田支部の管内の消防團長會議は来る二十六日午前九時より植田地區警察署会議室に於いて開催する

この日は火防宣傳方法などに付いて各團長の意見を交換するべく火災期の予防に万全を圖ることになつた、また縣消防協会理事として植田支部から選任されていた川部村消防団長（小野敏爾氏）が一身上の都合で辭任したためその後任理事の選出も同時に行う

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町 電一〇四

分裂し遂に解散

反共の小名浜自労組

小名浜自由労働組合（組合長長瀬大三氏）では十四日午後一時から町公民館ホールに臨時組合大会を開き 賃金値上げ、アプレ反對などについて協議したが、百四十組合員の意見がことごとに割れ遂に全組合は分裂し速時解散を宣した

小名浜自由労組は戦後日雇労務者の生活のよう護と超黨派をスローガンに結成され、内郷、好間、湯本など屈強な容共派自由労組間の中にあつて初線を堅持して斯界注目の反共組合であつたが、去る六月ごろから組合内にこれら反共に異論者が表面化して來たもので、今回解散はこの異論が頂点に達したものであると見られている

なお長瀬組合長は旅行中の出来ごとであるが、近々中に異論者を除いて新組合を結成する動きが見られ注視されている

全組合鈴木書記長談

組合は政黨政派に偏しない、これが基本方針に對して異論者が現れたので、除名にもつていくよりも解散をなして新しく發足するのが妥当だと思つたから解散をした、一部異論者から賃金値上げ、アプレ反對などは幹部のみで決めることは妥当でないから臨時組合大會を開いて決定すべだと云う聲もあり大会を召集した、組合長は留守であるが、近々中に結成大会を開くつもりだ、吾々に贊同するものは大多数であり組合發展のために今回の解散は逆つて喜ばしい結果であると思う

反対者の辯

大柳氏は語る

また解散反對の立場をとつたと云われる全組合執行委員の一人大柳忠治郎氏は

勞組が發足して以来財政的な面などに於いてすつきりしないものがあり、これらの糺明のために十四項目に亘る議案が臨時大会に上提されたが、議長渡邊三平さんは突然解散を宣した、吾々は政治的にも思想的には何んの含みもないものであるにもかかわらず、議長が何か感違いをなしたのではないかと思う、私も組合の幹部の一人であるが、組合の財政がどの様になつてくるか知らぬ、勿論一般組合組も知らぬので決算報告を要求したものであるが、幹部は事務上から報告不可能だと云う一般組合員はそんなら辭めろなどと云つたほどであつた

と語り、諏訪拓二氏の間題に觸れると

諏訪さんと臨時大會には何んの關係もない、吾々は同じ職場にいる者として交際しているだけである

常磐名産 みりん干

上遠野瀧分校々庭擴張

上遠野小学校（校長佐藤七之助氏）では同村上遠野小学校瀧分校の校庭擴張をPTAの協力で着工した、これが完成すれば從來の三百坪から一躍六百坪にと倍になるため職員を初め生徒諸君も早期完成を期してその工事に汗を流している

尚同校は上遠野本校より三、五キロも離れておりこの春までの兒童生徒數は二學級で百名であつたが四月から二学級百四十名となつたものである、また近く荒川村長等の骨折りで電話も開通する予定である

鹽屋岬沖に遭難船か

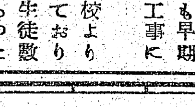
十五日午前八時ごろ小名浜海上保安部に入つた無線連絡によると仝日午前七時四十五分頃和榮海運所属の汽船大進丸が鹽屋崎沖南東二十マイル附近を航行中附近に機帆船のブリッヂらしきものが漂流中＝と報じて來ているので附近を航行中の船舶は注意するように希まれている

なお巡視船「あさちどり」がブリッヂを捜索中であるが、仝日正午現在発見されておらない

蔬菜市況 15

「小名浜中央青果市場」たまご一二、六〇～一四、五〇大根五～五一馬鈴薯二〇～六〇にんじん七〇～一四〇ごぼう七五～八一なす二二～五〇きうり一一～五〇さつま三五～一〇〇なたまめ一五～五五いたまめ四〇～六〇ねぎ七〇～一一一たまねぎ三六～五〇

經費をかけずに良い品安く
スポーツシーズン
野球帽ユニホームグロブ
男女学童用運動着運動靴
旅行セツトボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー群羊各色揃
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地 入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ 80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地



チケット歓迎
皆様の店
平マーケット
お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
小名浜第二小学校前 電二九七

15日まで
氣まぐれ天使
（魔法のランプ）
千一夜物語
上映中
金美館

洋傘専門
高野昌平商店
小名浜町中島

美粧とパーマは
本田美容室
小名浜町

勞務者大募集
一現場 横須賀市米海軍基地建設工事
一職種 鳶職土工職（經驗有ル者）
一賃金 一日三百五十円以上 寄宿舎有り）
一雇主 馬淵建設株式会社横須賀本社
申込所小名浜町古港一九三
小野建設工業
小野幸次郎事務所

石炭販売
石炭の需用期になりました 石炭の買入は今ですトラック一台以上大量注文に應じます
小名浜町古港一九三
小名浜石炭販賣取次所
小野幸次郎

人生の福音
毎月の月払で自分の家が建ち土地を買うことが出来ます小名浜出張所に毎日一戸平均の申込者が有ります毎月二、三戸づゝ新築されていきます月掛建築の申込は約束の月に必ず建てる当出張所に申込み下さい
日本建物KK小名浜出張所
申込所小名浜町下町一八
古港一九三
小野幸次郎事務所

磐城日日　昭和28年（1953年）9月16日　水曜日　第933號

第三種郵便物認可　一部金3円

紛争續ける鹿島

合併反對署名運動に　今度は署名取消し

両町村議會の議決によつて合併を決定した鹿島、小名濱合併問題は議会の決定によつて四年に亘る紛争にピリオドを打つたかに見えたが湯本合併賛成派はあく迄も議会の決定に不服であるとして署名運動を展開、村議会、縣知事、縣會議長宛に反対請願陳情を行つたが、今度は逆に署名者の中から署名取消し運動が起り、將に鹿島村は紛争の坩堝と化している

鹿島、小名浜両町村は先きの議会決定に基き、十一日両町村合併認可申請書を縣知事に提出し、九月縣会に上提の上十月一日をもつて合併する手續きをとつたが先きに地方事務所長宛小名浜合併反対陳情を行つた松久須根他四部落はあく迄も小名浜合併に反対し、十数人位の意志によつて一村の合併を決議するのは不都合であるとして全村民に呼びかけ有權者一一八〇余名中約六割五分弱の署名を得て村議會に提出する一方十四日部落代表数氏は出縣して小名浜合併反対の署名申請願書を縣知事、縣会議長に提出し、村民の意志を無視した合併には絶対反対であると善處方を陳情したこの署名運動に對し、小名浜合併賛成派は眞に村民の自由意志を發表したものではなく半ば強迫的に署名させたものであるとして藏持部落など各部落が部落会を開き、協議を重ねた結果、藏持部落の如きは區長の進退問題に迄發展し　結局藏持部落は全員が小名浜合併に賛成する事を確認して署名したものは取消しを行う事になつた、一方米田走熊など各部落でも小名浜合併反對に署名した者が今度は逆に署名取消しを申出てその数は二百余名に達し、村議会に提出された署名簿は取消され有權者数から見ると形勢は逆転して小名浜合併賛成者が多数をしめる結果となつている

解決は時間の問題

一切を決するは知事か

小名浜合併反対署名の取消し者二百数名は縣知事、議長宛の署名簿の取り消しに一兩日中、代表者を送る模様で、益々復雑の度を加え縣知事の決裁迄にはなお抗争が續けられる模様で、最悪の場合は分割合併と云う事態も予想され村の識者を憂えさせているが、両者とも一致して分村はしないと云つているところから何れにしても近日中には縣知事の決裁、縣會の承認によつて決定されるものと思われる

北洋漁業から歸りて

東慶丸　熊木彦次郎氏特別寄稿

水産日本の生きる道北洋漁場の開拓は昨年から再開され、日本水産、太洋漁業、日魯漁業など三社による鮭鱒流し網と共に三社合同になるカニ工船日水船團東慶丸に乗船して操業に從事した熊木彦次郎氏から操業現地ルポを本社紙上に發表したがこのたび歸郷の第一報を本社に寄託した

以下は熊木氏が綴る北洋上におけるカニ工船の操業状況である

カニ漁は昭和五年から始り全十四年で終正符が打たれ、今年が十四年振りの出漁であつた

去る四月八日函館を出港して全二十日アラスカ半島アマック島附近に到着したが、長い空白による漁場の變化もあつて当初は随分苦勞した、特に昨年暮の寒氣に影響され水温が意外に低かつた、大きな問題としてはカニの動きが戦前と全く違い、今までだと春先き接岸して産卵その後休養をとつた上で沖合に出るため入りガニ、出ガニと頻繁に獲れたものが今度の場合その全てが沖合で産卵していたので出ガニより獲れなかつた、更にズワイガニ（ヨシガニとも云う）がアリューシャン西南部一帯に厚群来していたのが擧げられる

天下はズワイガニに

新漁場はポートモーラ魚田

今回の操業当初はタラバガニは數えるほどしかみられずズイワガニを網から取り捨てるだけでも並大低でなく一時随分悲感的だつたが調査船の努力により湾外西南方に有望魚田ポートモーラ附近を探知してから漁獲もぐんと増えた

アメリカ側でもトロール船三隻がやつて來て操業していたが一度もトラブルを起さず出漁前漁場の協定打合せを行うことになつていた

ところが双方とも漁場について未知数であるため結局現地ですることに協定した、漁場ではアメリカ側の社長、副社長らが邦船に見学に来たり、また当方からも見学するなど開放的であつた、この点では國際親善に役立つたと思う

技術の面から見るとタラバガニのみを漁獲していては近年ズワイガニの天下になる恐れがあると云うのでズワイガニを如何に商品價格づけるかゞ問題であり、それで漁期間中罐詰　冷凍その他加工を種々研究、罐詰の試作品も造つて來たがタラバガニに比較して形態は小さく落ちても味はぐんと良い處から立派に輸出適格品となると思う

網は綿糸の外に試驗的にビニール製三十反持つて行つたが、カニを外すのに相当手間がかかり結局綿糸が良いようです

また今年はアメリカ側の要望により試験的に手操船を操業したが二、三年の成果を見なければ適、不適の結論は出ないと云う、昔は刺網専門だつた底曳も片手目でなく板曳を主眼としてやらねば來年は試験するらしい、来年度の見通しとしてはアメリカ側の意向も充分考慮する必要があり、米、加、日の三國交渉委員會で漸定決定するが、日本側の要望としては先ず一船團六函万止りとするのが理想らしい、今年は目標五万函を突破し五万八千二百四十函と云う豊漁を収め百四十二日目で悠々歸着したことは自他共にうれしい限りだ、なお衛生状態はすこぶる良好で青ざめた病人一名もなく、たゞ珍らしく六名の盲腸炎手術も結果よく、大候も良く、大きな時化もなかつた

新商議所法說明会

小名商工会、公民館に開催

小名浜商工会（会長草野庄平氏）では新商工会議所法並びに縣火災共済組合について町内一般商工業者を招き十七日午後一時から公民館に於て說明会を開くことになつた　講師は縣商工課主事長谷川　夫氏、縣商工連盟根岸德藏氏他が予定されている

新商工会議所法は從来の商工会議所法を一層强力にして商工業発達の中核体にしようとする意途の許に今國会を通過十月一日より発効するものである

また縣火災共済組合とは商工業の火災保険として縣共済商工協同組合が行つている共済組織で、縣は六月縣會に於て縣の予算外義務負擔金を三千万円に決定しており、一般の火災保険より掛金が約半額であり、商工業者の加入が希まれている、何れも業者にとつて重要な事項であり多数の聽講が希まれている

錦小運動会

町内對抗競技も

錦町小學校のPTA常任委員会は十二日午後一時より小学校講堂に於いて開き運動会の日程及他校視察などに付いて協議した結果、来る二十七日午前八時より盛大な秋季大運動会を実施することになつた、この日は婦人会青年会、消防團など各種団体のレクリエーションを初め呉羽化學町内官公廳等の對抗競技も行うことになつた、尚中学校は二十日に實施する

樂園カチューシャによる音樂会開く

十六日水素講堂で

日本水素小名浜工場講堂で"樂園カチューシャによる音樂会"が開かれる　これは全工場健康保険組合、文化体育部、勞仂組合三者共催による"健康保険"の慰安として行うもので、晝の部は十一時半と三時、夜の部は五時と九時の各々二回公演することになつている

藤田さんが健康優良兒

植田町小学校（校長舟生伊佐美氏）の六年女組藤田浩子さん（十一）はこの程全國小學校の健康優良児童生徒の縣予選に晴れて選抜された、また勿来第一小学校（校長竹岡傳氏）の六年生佐藤千代子さん（十一）も縣下一位で各々選ばれた縣下では五名である

勿来關に美術館

考古史料古代美術を保存

勿来町窪田魚安主人、鷲安治郎氏同町關根忍氏、櫛田昌夫氏錦町中田金成泰三氏等が發起となつて兼ねてより計畫していた勿來町の美術博物館がこの程勿来町關田宮前の縣立公園勿來の關地内に建立することが決り十一日午後一時より原地に於いてその地鎭祭を挙行したこの日は地元縣議赤津庄兵衛氏を初め町内の關係有志約百余名が集りそぼ降る雨にもめげず厳かに執行した

建立される美術館は宮前勿来の關（入口）に建坪三八坪工費約二百万圓で錦町中田金成泰三氏の請負で施行明春三月の勿來の關記念祭までには完成の予定である

珠算教室開校

公誠場館江名中學で

珠算簿記専門學校小名浜公誠學館では江名町公民館後援　全教育委員会協賛による珠算教室を来る九月廿七日午前九時から入学式を行い毎週日曜午前九時から江名町中学校に於いて開くことになる▽入学資格は小学校四年生以上で授業は一ヶ月廿時間▽入學希望者は入学時珠算、鉛筆、ノート、及び入学金五十円、月謝百円を納ることになつている

全公誠學館は戦後珠算簿記專門校として発足して以来斯道奨勵のために盡した功績は大きく、このたび日本商工会議所、平商工会議所の公認指定珠算育成校となるに及んでは劃期的育成方針と共に躍進しつゝあり當地方珠算簿記育成に貢献甚大なるものがある

洋服の店
都服装店
小名浜町電五五一

買クスリなら
佐藤のホミカロート
長生堂薬局
小名浜中島　電三七〇

眼科
赤石沢医院

秋　天高く希望も實る
内容を一新して皆様におくる
第20回　東邦寶定期
東邦賞　30萬圓

割増金			
東邦賞	300,000円	1本
特賞	100,000円	9本
壹等	10,000円	90本
貳等	1,000円	200本
参等	500円	5,000本
四等	50円	10,000本
五等	15円	100,000本

取扱期間　十一月三十日マデ
抽せん日　十二月五日
割増金支払　十二月十四日ヨリ

みなさまの金庫
東邦銀行

看護婦五名至急募集!!
※有資格年齢（十八才ヨリ二五才マデ）
※履歴書持参面談

醫療法人　柳田病院
院長　柳田敏也
植田町番所下65ノ1（公民館隣り）
電話（植田）三〇二・三六五番
（保険醫＝結核豫防醫
生活保護指定醫＝労災保険指定醫）
※植田駅より徒歩にて五分

弊館新築の粋を凝らした別館大廣間

旅館割烹　若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
◎御座敷女中募集（若干名）

インサツは……ナガセ